

# 佐々木 茂 光



あの日を忘れない…

地域再生へ  
全力で走る

## ごあいさつ

向寒の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。  
復興事業も10年、その先が気になります。そして新型コロナで地域は厳しい状況におかれています。  
国においては新たな体制のもと復興、コロナ対策等あらゆる課題解決に向け歩み出しました。  
これからも「見る」「聞く」「動く」を基本姿勢とし「復興と地域創生」に取り組んでまいります。  
鈴木俊一財務大臣の就任は岩手県そして気仙にとって必ずや大きな力となります。  
今後とも皆様方のご指導、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます、3期目折り返しの挨拶と致します。

### 県議会の所属委員会・議連

- 議会選出 監査委員 ●議会運営委員会 副委員長 ●環境福祉常任委員会 ●水産振興議員懇談会副会長
- 岩手県南・宮城県北議員連盟 幹事長 ●東日本大震災津波復興特別委員会
- 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会(新設) ●地球温暖化・エネルギー対策調査特別委員会(新設)
- 国際リニアコライダー建設実現議員連盟 ●港湾議員連盟 ●米穀園芸生産流通議員研究会 ●森林・林業政策研究会
- 消防議員連盟 ●自由民主党岩手県連 政調会長 他





# 復興・創生に 全力で走る!!

## 佐々木茂光 **熱き** 思いを胸に 定例会一般質問に立つ!

■先の定例会県議会では以下の事について関係部局からの答弁を求めました。

### 東日本大震災 津波からの 復興について

- ・被災跡地の利活用
- ・本県の支援の状況と今後の取り組みの方向性
- ・被災地の人口減少対策
- ・三陸沿岸道路の全線開通を見据えた県内広域観光ルートの整備

### 国土強靱化と 道路交通 ネットワーク の整備

- ・事業の計画的な推進と公共事業予算の確保
- ・内陸部を結ぶ道路ネットワーク
- ・白石峠地区の今後の事業化の見通し
- ・ILCを見据えた新笹ノ田トンネルの整備

### 第1次産業の 振興

- ・サケの資源回復に向けたこれまでの取り組みと今後の対応
- ・現在の漁業協同組合の経営状況と漁業協同組合の経営課題に対する県の取り組みと支援
- ・沿岸地域での水産振興や地域振興に資する漁港の有効活用
- ・藻場の再生
- ・漁業生産の現場を支える就業者の確保と将来の担い手として育成

### 地域医療と 福祉

- ・医療人材や訪問看護人材の確保

■答弁を一部抜粋します。

#### ▶ 東日本大震災津波からの復興について

##### ◆知事は……

県民が、未来のために力を合わせて、よりよい地域を創造し築いていくことに一丸となって取り組んできた。

その結果、計画された復興事業の多くは完了し、「いのちを守り海と大地と共に生きるふるさと岩手・三陸の創造」という復興の目指す姿を実感できる機会がふえてきた。一方で、被災者の心のケア、新たなコミュニティの形成支援、なりわいの再生などの中長期的な課題もあり、引き続き取り組んでいく必要がある。

引き続き復興の取り組みを進めるとともに、国連の持続可能な開発目標SDGsの理念のもと、誰一人取り残さないように、被災者一人ひとりの復興に力を尽くしていく。



#### ▶ 国土強靱化と道路交通ネットワークの整備

白石峠地区は、トンネルを含めた新たな道路を計画し、事業化に必要な手続きを大規模公共事業評価専門委員会に諮問した。

新笹ノ田トンネルと国道343号は、重要な位置づけを持つ路線と認識し、本年3月には渋民バイパスの開通を図った。

#### ▶ 第1次産業の振興

漁協の経営環境分析の結果を確認しながら経営改善に向けた指導、助言を行い、収益の確保に向けて漁協経営の安定化に向け取り組みを進めていく。

今後とも、県内外から漁業就業者を確保し、将来の本県の漁業を牽引する担い手として活躍できるよう支援を行い特に水産業は・主要魚種の資源回復、サケの資源回復に向けた取り組み。・マイワシなどの有効活用。・サケ、マス類の養殖業の導入。これを大きな三つの柱として取り組んでいる。

#### ▶ 地域医療と福祉

医療人材は看護職員修学資金の貸し付けなどにより、年々増加傾向にある。

岩手県看護協会の協力を得ながら、新卒から訪問看護師として育成できる環境を整備し、訪問看護人材の確保に努めている。

#### ▶ 公共交通の確保

国や市町村と連携し補助を行ってきた。また、国庫、県単補助路線について、補助対象外路線を運行するバス車両も対象とした運行支援交付金を交付した。

岩手医大へのアクセスの充実化に向けても様々意見交換をしていきたい。





岸田総理と面談



R 3. 10 岸田総理来高



R 3. 3 予算特別委員会



思い出の品（竹駒町）



R 3. 7 新型コロナウイルス感染症対策知事要望



R 3. 6 政策懇談会にて小野寺五典衆議院議員



R 3. 5 県内各業界団体との政策懇談会



R 3. 3 予算特別委員会総括質疑



R 3. 7 農林水産委員会調査りんご研究所県南果樹部

## 「県庁への道すがら」 徒然なるままに

9月末にコロナワクチン2回目接種を終えた。

中には副作用の症状に悩まされた方もいるようだ。「体がだるい」「筋肉が痛い」「腕が上がらない」…。そんな話を聞き2回目の接種。「副作用心配なら、最初から腕上げて接種しては」と、先生に話したら、「おもしろいこと言うね」と言って笑われた。そんな気持ちで接種すればもっと接種速度が加速するだろう。

情報が多すぎて不安を煽る情報もある。若者の接種が進まないのはそんなところにあるようだ。気仙管内接種は1回目、2回目とも着実に進んでいる。

今後はコロナと共存する形で暮らすようになるのだろうか。対策の基本を自らしっかりととることが賢明である。これ以上長引かせない為に。

そして思うのは、やはり「道路は経済、人流の基軸」という事である。

時に、盛岡からの帰り道はコースを変えて帰ってくる。住田、遠野には、最近めっきり少なくなった稲のハセ掛けも見える。一関、大東を經由すると杭掛けだ。高田沖の取り戻した農地にも輝く稲穂で黄金色に染まっている。

道路行政には引き続き力を入れていかなければと思いつつアクセルを踏む。



鈴木大臣と共に

皆

さんの声を  
お聞かせ下さい

・ 県政に関するご意見・ご相談をお寄せ下さい。

・ 今回発行の「県政報告」や私の活動への御意見もお待ちしております。

佐々木茂光事務所

■ 発 行 者 岩手県議会議員 佐々木 茂 光

■ 発 行 所 佐々木しげみつ事務所

■ 発行責任者 佐々木 茂 光

〒029-2203 岩手県陸前高田市竹駒町字館56-1

TEL 0192-53-1771

FAX 0192-53-1770

メール shigemitu@sasa-shige.net